

第 30 回

防火意識高揚推進大会

日 時 令和元年6月7日(金)

午後2時から

会 場 「ピアザ淡海」県民交流センター

ピアザホール（2階）

大津市におの浜1-1-20

主 催：一般社団法人滋賀県防火保安協会連合会

後 援：滋 賀 県

滋 賀 県 消 防 長 会

公益財団法人 滋 賀 県 消 防 協 会

一般財団法人 消防試験研究センター滋賀県支部

* 次 第 *

1. 開会のことば

2. 会長あいさつ

3. 表 彰

- 消防庁長官表彰伝達
- (一財) 日本消防設備安全センター理事長表彰伝達
- (一財) 全国危険物安全協会理事長表彰伝達
- 滋賀県知事表彰
- (一社) 滋賀県防火保安協会連合会長表彰

4. 来賓祝辞

5. 受賞者代表謝辞

6. 大会宣言

7. 講 演

演 題 「アメリカ海軍で学んだ危機監視教育」

講師 一般社団法人 リスクウォッチ代表

元在日米軍司令部消防隊予防課長

長谷川 祐子 氏

8. 閉会のことば



ご あ い さ つ

一般社団法人
滋賀県防火保安協会連合会
会 長 家 森 茂 樹

平素は当連合会の運営に多大なご協力、ご支援をいただき深く感謝致します。

今年度におきましても、6月の「全国危険物安全週間」の協賛行事として、危険物の保安に関する意識の高揚及び啓発を推進することにより、各危険物取扱事業所等の自主保安体制の確立に寄与することを目的とし「第30回防火意識高揚推進大会」を開催させていただきました。ご来賓各位並びに皆様には公私ともお忙しい中、ご参加いただきましたこと、改めてお礼申し上げます。

さて、当連合会も、平成25年4月の一般法人への移行から早、6年が経過したところです。8年間に設定されている移行期間も順調に進めさせていただき、予定より2年早く移行が達成できる運びとなりました。これも関係のみなさんのお支えのおかげと感謝申し上げます。

当連合会をとりまく諸情勢をみてみますと、先般の4月に発生したパリのノートルダム大聖堂の火災や天津市の園児等多くの死傷者を出した交通事故など、火災や事故はいったん発生すると、関係者や事業所のダメージは計り知れず、地域社会への影響も避けては通れません。

皆様方には、常日頃、それぞれの立場で、危険物の安全管理に万全を期していただいておりますが、今大会を契機として、ソフト、ハード両面において、確実な整備・点検の徹底、保安教育の充実等に、なお一層、ご尽力いただき、事故のない社会の形成につながれば幸いです。

当連合会といたしましても、県民の防火思想の普及向上はもとより、防災業務関係者の育成事業や事故及び災害防止と公共の安全に寄与しなければなりません。これを進めるにあたっては、会員の皆様と連携をしながら、誠心誠意、着実に取り組んで参る所存であります。どうか、今後とも、ご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後に、本日栄えある表彰を受けられました皆様に、今日までのご尽力に敬意を表しますとともに改めてお祝い申し上げ、ますますご活躍されますことをご祈念申し上げますとともに、併せて、本日ご参会の皆様のご健康、ご多幸をご祈念申し上げ、大会にあたってのご挨拶といたします。



ごあいさつ

滋賀県知事

三木 大進

一般社団法人滋賀県防火保安協会連合会の皆様には、日頃から県民の皆さんの防火意識の高揚、危険物による事故の防止、消防用設備等の設置・維持管理のために御尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

また、本日、表彰を受けられました皆様におかれましては、永年にわたりその職務を全うされ、火災や危険物事故の防止に多大な貢献をいただきました。皆様の御功績に対し、心から敬意を表します。

さて、本県における昨年の火災発生件数は406件となっており、たき火を原因とする火災が最も多くなっております。なかには、県防災ヘリコプターによる空中消火を要した大規模な火災も発生しております。また、災害が多発する昨今、危険物施設においては、台風や地震の発生に伴う浸水・破損事故が後を絶ちません。

本県としましては、こうした火災や事故のない、より安全・安心な滋賀をつくるため、初期消火を広く呼びかけるとともに、ハザードマップの公表など、様々な情報提供を実施しております。しかし、それら以上に、一人ひとりが防火・防災に対する正しい知識を習得したうえで、日頃からの備えや訓練をより一層進める必要があります。

「平成」から「令和」へ。時代の変化に対応すべく、本県では、「変わる滋賀 続く幸せ」を基本理念に、新たな基本構想を策定いたしました。皆様の永年にわたる取組や活動は、やがて地域防災力の向上をはじめとする「社会の健康」へと結実し、持続可能な共生社会を目指す本県にとって、大きな原動力となります。皆様には今後とも、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今大会が防火意識の一層の高揚と危険物保安体制のさらなる推進につながる実り多きものとなることを御祈念申し上げますとともに、貴連合会の今後ますますの御発展と、皆様の更なる御活躍を心からお祈りいたしまして、ごあいさつといたします。

表彰伝達
消防庁長官表彰
(一財)日本消防設備安全センター理事長表彰
(一財)全国危険物安全協会理事長表彰
受賞者

(敬称略)
平成30年11月1日受賞
令和元年6月3日受賞

◇消防庁長官表彰
消防設備保守関係功労者

杉江和昭 株式会社杉江防災

優良危険物関係事業所

ピー・アンド・ジー株式会社 滋賀工場
湖南防火保安協会

◇一般財団法人 日本消防設備安全センター理事長表彰
消防設備保守功労者

北村勳司 株式会社奥山ポンプ商会

感謝状(個人)

梅村勝 (一社)滋賀県防火保安協会連合会

消防用設備等点検済表示制度推進優良事業所

株式会社 オバタ防災設備 彦根防火保安協会

◇一般財団法人 全国危険物安全協会理事長表彰
危険物保安功労者(個人)

坂口和男 湖南防火保安協会

優良危険物関係事業所

キリンビール株式会社滋賀工場 彦根防火保安協会

第30回防火意識高揚推進大会表彰受賞者

(敬称略)

◇滋賀県知事表彰

防火保安功労者

西川 毅
山田 光
山田 清史
國友 隆房
井元 敏雄

湖南防火保安協会
甲賀広域防火保安協会
東近江防火保安協会
長浜市防火保安協会
(一社)滋賀ビルメンテナンス協会

優良事業所

株式会社平和堂フレンドマート栗東店
信楽ガス株式会社
日本パーカライジング株式会社関西工場

湖南防火保安協会
甲賀広域防火保安協会
東近江防火保安協会

◇(一社)滋賀県防火保安協会連合会長表彰

防火保安功労者

宇野 光彦
山崎 敦志
園田 英次
山本 勝士
野瀬 英行
海藤 浩
奥 清明
安原文 雄

湖南防火保安協会
湖南防火保安協会
甲賀広域防火保安協会
東近江防火保安協会
米原市防火保安協会
高島市防火保安協会
滋賀県電気工事工業組合
滋賀県電気工事工業組合

優良事業所

比叡山鉄道株式会社	大津市防火保安協会
住友精密工業株式会社滋賀工場	湖南防火保安協会
株式会社タカラインコーポレーション	湖南防火保安協会
サンメディカル株式会社	湖南防火保安協会
株式会社平和堂フレンドマート中主店	湖南防火保安協会
医療法人社団仁生会甲南病院	甲賀広域防火保安協会
社会福祉法人信楽福祉会 特別養護老人ホーム信楽荘	甲賀広域防火保安協会
株式会社きんでん滋賀支店八日市営業所	東近江防火保安協会
滋賀蒲生町農業協同組合	東近江防火保安協会
株式会社シーピーケイ滋賀工場	東近江防火保安協会
株式会社平和堂フレンドマート湖東店	東近江防火保安協会
共栄社化学株式会社滋賀工場	彦根防火保安協会
ホテルサンルート彦根	彦根防火保安協会
ハマナカ繊維株式会社滋賀工場	米原市防火保安協会
公益社団法人地域医療振興協会 地域包括ケアセンターいぶき	米原市防火保安協会
株式会社ユーハイム滋賀工場	長浜市防火保安協会
ハヤミ工産株式会社	長浜市防火保安協会
旭化成株式会社筑紫野工場あいばの事業所	高島市防火保安協会
大津電機工業株式会社高島工場	高島市防火保安協会

第30回 防火意識高揚推進大会

大会宣言（案）

私達は、防火意識高揚推進大会を契機に、危険物に起因する災害を未然に防止することが、豊かで活力ある地域の振興や産業、経済の伸展に役立つものであることを強く認識し、各人に課せられた社会的責任を果たすため、改めて次のことを誓います。

- 1 危険物の保安に関する知識・技術の向上をはかり、危険物災害の防止に努めます。

- 1 危険物に関する法令を遵守し、自主保安管理体制の確立を図ります。

- 1 会員相互の啓発を図り、もって危険物保安に関する資質の向上に努めます。

以上宣言します。

令和元年6月7日



一般社団法人リスクウォッチ代表
元在日米軍司令部消防隊予防課長

長谷川 祐子氏

【経歴】

一般社団法人リスクウォッチ代表。また、防災協会評議員、市民防災研究所理事、
梶原町未来大使、日本消防協会専門委員、総務省消防大学講師、マンション顧問、
防災会館などの改修アドバイザーなど就任。少年消防クラブ(横浜市任意団体)代表。

日本に駐在するアメリカ軍基地消防署予防課における23年間の勤務の中で出会っ
た、アメリカ消防の危機監視戦略に対する驚きと共感を基にオリジナリティー溢れ
る危機管理教育を実践している。

【演題】

「アメリカ海軍で学んだ危機監視教育」

賛助会員

塗料で 省エネ 防火 環境性向上 資産価値向上

滋賀県塗料商業会

理事長 西山 邦雄

蒲生郡竜王町西川1459-2

電話 0748-58-3040

塗料のことなら当協会会員へご用命下さい

一般財団法人 消防試験研究センターからのお知らせ

★危険物取扱者・消防設備士を受験しようとするみなさまへ！

一般財団法人 消防試験研究センターホームページから受付期間中は
インターネットで24時間いつでも受験申請ができます。

<https://www.shoubo-shiken.or.jp> へアクセス下さい。

★危険物取扱者・消防設備士のみなさまへ！

交付日から10年を過ぎた免状は書き換えが必要です。

※お問い合わせ

一般財団法人 消防試験研究センター滋賀県支部

〒520-0806

滋賀県大津市打出浜2番1号コラボしが21 4階

電話 077-525-2977

FAX 077-521-7904

○令和元年度危険物安全週間推進標語○

「無事故への 構え一分の 隙も無く」

○2019年度全国統一防火標語○

「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」